

1 基本方針

小学生バレーボールを取り巻く環境は大きく変化しています。しかし、「ど真ん中に子どもがいる」の考えは変わりありません。

山形県小学生バレーボール連盟は、バレーボールを通して、ボールをつなぎ、心をつなぐことの大切さをはぐくみ、バレーボールの楽しさ、喜び、つながりを高め、人間性豊かな選手の育成を目指します。

(1) 安定した大会運営、活動の実現を推進します。

令和5年度においても、新型コロナウイルス感染の終息が見えない中での大会開催となることから、大会の運営については依然として慎重な対応が必要となります。

大会開催での感染予防対策については、新型コロナウイルス感染の状況、県教育委員会、スポーツ少年団本部、県バレーボール協会、日本小学生バレーボール連盟の要請等を踏まえた対応とします。

また、大会での新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを当面作成し、感染防止対策に取り組み、感染、事故のない運営に取り組みます。

(2) 体罰・暴言・不適切な指導撲滅のための取り組みを強化します。

「ど真ん中に子どもがいる」の考えを基本に、1人でも多くの子どもたちへバレーボールの楽しさ及びボールをつなぐことの大切さを伝え、体罰、暴言のない指導の徹底に努めていきます。

また、日本小学生バレーボールで発刊した「共育ブック」の活用や指導者への働きかけなどを行い関係団体と連携し撲滅に向けた取り組みを強化します。

(3) 小学生バレーボール人口拡大のため施策を推進します。

バレーボール競技者人口が減少しているなかで、新たにバレーボールを始める子供を増やすために、ホームページの活用、他団体と連携した取り組みなどを検討し、小学生バレーボール人口を増やすことに力を注ぎます。